



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	エクセレントシティ青葉台IIザ・パーク	階数	地上6F
建設地	横浜市青葉区つじが丘1-8	構造	RC造
用途地域	準住居地域、準防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年8月 竣工	評価の実施日	2019年11月1日
敷地面積	997㎡	作成者	新日本建設(株)
建築面積	569㎡	確認日	2019年11月1日
延床面積	2,487㎡	確認者	新日本建設(株)

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	138
②建築物の取組み	46
③上記+②以外の	92
④上記+	138

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.7

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
北側に大通りがあるので、防音や振動軽減を考慮し、窓の遮音性を高めている。また、計画建物を南側敷地境界から3m以上離し、南側道路からの圧迫感をなくしている。		
Q1 室内環境 F☆☆☆の建材を採用し、その他の項目についても標準的な配慮を行っている。	Q2 サービス性能 住宅性能評価における劣化対策等級3とし、空調・給排水管の耐用年数にも配慮し、建物のサービス性能の向上に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化指数47.4%とし、敷地内を適切に緑化することにより、室外環境の向上に努めている。
LR1 エネルギー 建物全体のBEI=0.85とし、その他の項目についても標準的な配慮を行っている。	LR2 資源・マテリアル LGS下地を採用し、その他の項目についても標準的な配慮を行っている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率72%とし、その他の項目についても、敷地外環境の向上に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

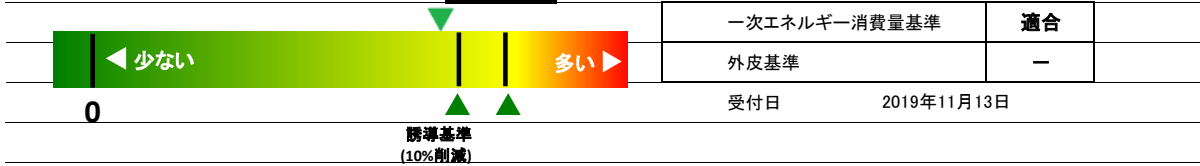
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 **エクセレントシティ青葉台Ⅱザパーク**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 4**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **15** %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①住戸の過半以上が断熱等級4相当

③BEI=0.85

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【健康・安心】 4**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥F☆☆☆☆の建材を採用

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯住宅性能評価における劣化対策等級3

⑰空調・給排水管の主要2用途にBを使用、Eは不使用

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 1**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入	
— — —	



CASBEE横浜2017年版v.1.4
 エクセレントシティ青葉台IIザ・パーク

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
							評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 騒音									
1.2 遮音									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 屋光利用									
3.2 グレア対策									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
4.2 換気									
4.3 運用管理									
Q2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1.2 心理性・快適性									
1.3 維持管理									
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震									
2.2 部品・部材の耐用年数									
2.4 信頼性									
3 対応性・更新性									
3.1 空間のゆとり									
3.2 荷重のゆとり									
3.3 設備の更新性									

CASBEE[®]横浜 | 評価結果 | 31-106



CASBEE横浜2017年版v.1.4
 エクセレントシティ 集合住宅ザ・パーク

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.4
 エクセレントシティ 集合住宅 ザ・パーク

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	-
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		1.0	0.50	-	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	3.5	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	-	4.2	
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		4.0	0.20	-	-	-	4.0	
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		5.0	0.50	-	-	-	5.0	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価				-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-	-	
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	-	-	
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	-	2.7	
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	-	3.0	
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.6	0.60	-	-	-	2.6	
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.20	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-	-	
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	-	3.3	
1 地球温暖化への配慮				4.1	0.33	-	-	-	4.1	
2 地域環境への配慮				2.9	0.33	-	-	-	2.9	
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-	-	
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-	-	
2 振動				-	-	-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-	-	
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-	-	
上記以外の重点項目										
<事務用途>										
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-	-	
<住宅用途>										
健康と安心										
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		5.0	-	-	-	-	-	
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-	-	
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-	-	
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		1.0	-	-	-	-	-	